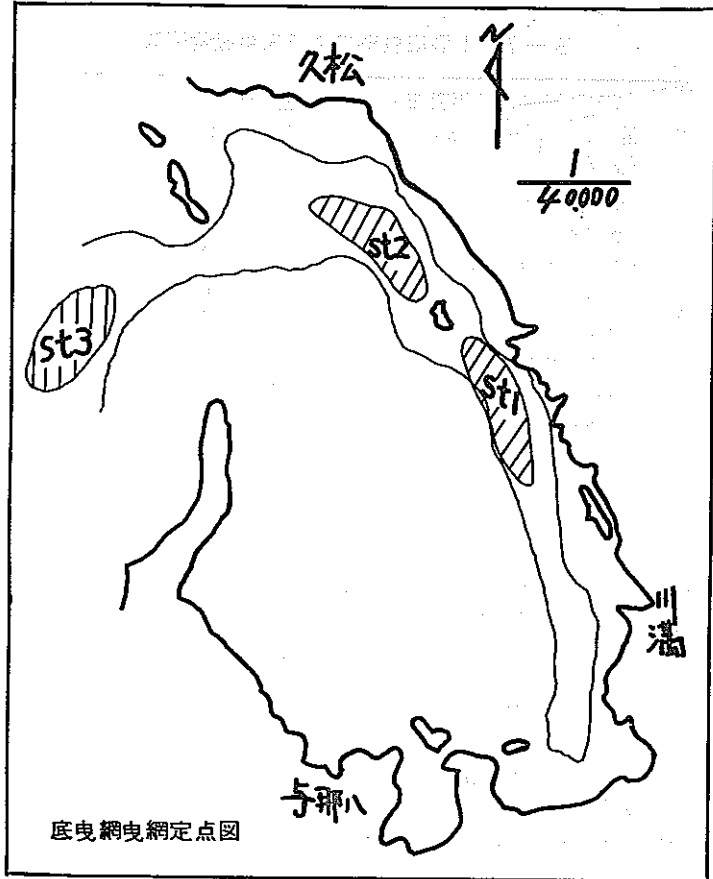


(7) 小型底曳網による底生生物相調査

川崎 和 男

与那覇湾およびその隣接水域は拡大な干潟、浅海水域を有し、アジモ場、サボテングサ等の群落
が形成され、有用魚類の好適
な生育場となっているものと
思われる。このような水域に
おける底生生物相を明らかに
し、ひいては有用魚類の生育
にとっての同水域の生物環境
特性を明らかにすることを目
的として湾内に3St を設定
して底曳網による調査を実施
した。各St は図示したとうり
である。St 1は湾奥部で水深
1~1.5 mで砂泥底の底質で
藻場は全くみられない。St 2
は水深1.5 m前後で、ヒメサ
ボテングサ、その他の藻類の
群落のみられる。St 3は湾口
部で水深1 m前後のアジモ場
帯である。底曳網は口径約2
mで2ノット/hで15分間
曳とした (St3は5分間曳)。



調査結果は表-(7)に示した。採捕された種類は魚類15科20種、シャコ類1科2種、エビ類3科8種、端脚類1種、カニ類7科19種、貝類7科8種、多毛類4科4種、ナマコ、ヒトデ類4科4種、ヤドカリ類1科1種が確認された。

St別にみると藻場の全くみられないSt1の生物相は貧弱であり、St 2、St 3の藻場帯に生物相は豊富である。このうち最も生物相が豊富な水域はSt 2である。同水域での優占種は魚類ではハゼ類およびテンジクダイ類、シャコ、エビ類ではテッポウエビ類、フトユビシャコ、カニ類ではオオギガニ類、ベニツケガニ類、貝類ではニナ類、ゴカイ類ではウロコムシ科の1種である。同湾は他の海域 (中城湾、金武湾、羽地湾等での底曳調査) に比較して単位面積当りの小型生物相は豊富であるといえる。

このような意味で、藻場の存在は小型生物の生育環境として好適な要因の一つであり、またこのことは底生有用魚類の生育環境の一つである“餌料環境”および“かくれば”として重要な意味を

もつものであり、同水域の大きな役割の一つであるといえる。

またこの水域では有用魚類の一つであるブダイ類、アイゴの幼魚も採捕されており、また潮干帯ではボラ、コトヒキ、クロサギ等の幼魚の群もみられており、その他の有用魚類の生育場として利用されていることは明らかである。

表一 小型底曳網による底生動物調査

数字は個体数

種類	年月日	51. 2. 26			51. 4. 15			備 考
		1	2	3	1	2	3	
魚 類	アイゴ	1						B. L 132.9mm 72g
	ハラスジベラ						1	FL 78.6mm 6.6g
	ヒブダイ					1		141.0 " 56g
	アオブダイ属 sp 1		1	調査せず	全く捕獲されず			FL 70.4 " 5.4g
	" sp 2		1					" 47.8 " 1.2g
	シボリ		9			1		" 39.7~56.6mm 抱卵個体有
	ハナイシモチ		6			1		" 37.0~60.0mm "
	ホシハゼ		55			1		" 16.4~42.5mm 0.03~1.06g
	サラサハゼ		1					" 97.0mm 10.6g
	クモハゼ亜科 sp 1		2					" 50.6~54.4mm 1.28~1.65g
	" sp 2		1					" 42.5mm 0.74g 抱卵
	ハナビヌメリ		2					BL 34.4~44.8mm 0.7~1.7g
	マエソ		1					FL 155.2mm 33g
	オキナワフグ	1						BL 81.4 " 30g
	モンダルマガレイ	2					1	BL 101.4~145.4mm 19.3~75g
	ミナミウシノシタ		1					FL 54.2mm 1.85g
ハナミノカサゴ		1					BL 62.0 " 7.3g	
フサカサゴ亜科 sp		1					FL 177.8 " 128g	
オニダルマオコゼ		1					FL 107.2 " 82.5g	
イザリウオ属 sp		1					" 40.0 " 40g	
シャコ類	フトユビシャコモドキ		18				BL 160~480mm 0.06~20g ♂11 ♀10	
	ホソユビシャコ		1			1	" 24.2~35.0mm 0.2~0.5g ♀2	
エビ類	テッポウエビ科 sp 1		18				" 16.3~35.7mm 抱卵個体有	
	" sp 2		7				" 26.0~37.0 "	
	" sp 3		12				" 13.6~26.0 "	
	" sp 4		9				" 10.4~15.0 "	
	" sp 5		10				" 10.7~22.7 "	
	" sp 6		3				" 10.3~11.5 抱卵個体有	
	コエビ群 sp		2				" 11.4~13.7mm 0.03~0.06g	
モエビ科 sp		5				" 18.3~? 0.2~0.5g		
端脚類	ヨコエビ目		5			1	" 12mm~15mm	
カニ類	ベニツケガニ		1				甲長 21.0 甲長 33.2mm	
	フタハベニツケガニ	3	30			1	" 5.7~15.4mm ♀21♂15 抱卵個体有	
	portunus sp 1		1				" 87 甲巾 18.0♂	
	sp 2		3				" 70~78 甲巾 14.2~16.2 ♀3	
	sp 3		19				" 4.3~19.3mm 甲巾 6.8~29.5 ♀5	
	sp 4		16				" 4.2~7.9mm ♀8 ♂8 ♂14	
	sp 5		9				" 2.7~9.0mm ♀5 ♂4	
ソバガラガニ		1				" 8.2mm 甲巾 10.1		

表一 7 小型底曳網による底生動物調査

数字は個体数

種 類	年月日 st	51. 2. 26			51. 4. 15			備 考
		1	2	3	1	2	3	
カ ニ 類	ヒラアシカムリ	1						
	種不明		1					甲長9.0mm 甲巾12.1
	クロテナガオオギガニ		121			2		" 42~80mm 甲巾 68~126mm
	ヒズメガニ		18					" 43~210mm 甲巾 60~332mm
	ウロコオオギガニ		8					" 51~102mm 甲巾 66~143mm
	シワオオギガニ		3					" 101~115mm 甲巾15.1~188mm
	オオケブカガニ		1					" 110mm 甲巾 155mm
	オオギガニ科 sp		6					" 79~126mm 甲巾11.9~18.4mm
	イツカクガニ	1	2				1	" 144~181mm 甲巾 7.3~11.4mm
	クモガニ科 sp		1					" 73mm 甲巾 36mm
コワタクズガニ						1	" 216mm 甲巾 166mm	
貝 類	コケガラスガイ						1	二枚貝 殻長 252mm 殻径 12.0mm
	ムシエビガイ		7			13		
	ハナビラダカラガイ					1	1	} 巻貝 殻長 10mm前後
	Batillaria. sp		76			321		
	フトコロガイ		1			85		
	ニッコウガイ科 sp		1					
	チビオリイレムシロ		2			2		
フジツガイ科 sp		2						
アメフラシ	アメフラシ科 sp					1	1	BL 18.4~50.5mm
ゴ カ イ 類	種不明		1					BL 68mm 体巾 13.3mm
	イソメ科 sp		1					" 74mm " 3.8 "
	ウロコムシ科 sp		19					測定不能
	ウミイサゴムシ						1	BL 32.4
ナヒ マト コデ 類	シカクナマコ					2	8	BL 40~135mm
	クロナマコ科 sp					1	3	" 60~76mm
	ルソンヒトデ						2	R 57.5~65mm r 82~110mm
	ウミバコ						1	
ヤドカリ類	ヤドカリ科	3				2		

※ St 1、St 2は15分間曳 St 3は5分間曳